

判定順序: 1 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: ごんごう
ソースコードID: R1 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☒ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

元の値のみ (2同値)

でも元の値も大事だよわー

CのCPPが読める。前は条件で変わるのて

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

左→右に発生
と変化

DBでバージョンを
扱っている

Download
と External. の違いは?

判定順序: 2 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: ごんごう
ソースコードID: R2 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☒ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

元の値も大事だよわー

元の値も大事だよわー
という判断だよ!

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☒ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 3 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: じゅん

ソースコードID: 23 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

re.dump/loadの事前共通処理を
集約する。でも全行は一個に
下すまい。(かも)
假想は違う。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

dump/loadの70行

判定順序: 4 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: じゅん

ソースコードID: 24 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

手と足もふいふ。 (b)(c) どちらもあり。
どちらかという (c)。

(下す (b))

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 5 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: ごんどう
ソースコードID: P5 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☒ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

引数でパラメータを渡すのも
メソッドが、呼び出しで
おこなう必要調整

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☒ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

使う側の立場で考えると(c)もありか?

判定順序: 6 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: ごんどう
ソースコードID: P6 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

版の違ひ。
ホワイトスペースも書く一意性。
おとめは!! (a)(c) のみとすか。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 1 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 齊藤 晃
ソースコードID: R1 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☒ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

共通のインターフェースを定義すれば
集約できそう。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

☒ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

バージョンを認識 するかどうかで...
結果がかわりそう。

判定順序: 2 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 齊藤 晃
ソースコードID: R2 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☒ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

ほとんど同じなので集約したい。
けどどうやって集約できるかわからない。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

☐ (a) ☒ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 3 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 齋藤 晃
ソースコードID: R3 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

それぞれのXソースの処理内容に依存するので...

単一ソースコードからだけでは何とも判定していく...

今回の資料に乗ってるXソース

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 4 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 齋藤 晃
ソースコードID: R4 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

構造は似てるが集約すると煩雑になりそうだと感じたから。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 5 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 齋藤 晃
ソースコードID: R5 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

集約が難しいそう。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 6 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 齋藤 晃
ソースコードID: R6 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

派生部品として登録したい。

数が多くなりすぎる等の問題があれば。

Aかなと。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

部品データベースの

コンテキストに大きく

存在しそう。

判定順序: 1 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 田中健太
ソースコードID: R1 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

91 項目。

内部不明の異なるインスタンス。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

変更は如前変更? バージョンが異なるだけ?

91 53 目の download() と External() の違い。
2u 話 如 変更して。

判定順序: 2 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 田中健太
ソースコードID: R2 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☒ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

1つ抽象化してまとめる: 使い分けは

いい。

肯定と否定の違い? なる。このように違いを

引いて引くことに考えていけば、登録するものから
いきなり増える気がする。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☒ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 3 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 田中 健一
ソースコードID: R3 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

333目の違いで、まとめることはできないと判断。
また2個関係なくも...ない

a or c.

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

dump() と load() の違いで
異なってる!

判定順序: 4 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 田中 健一
ソースコードID: R4 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

まとめることはできない。

And と OR の違いについて手動で見やりと。
!!!!かも。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 5 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 田中 健介
ソースコードID: R5 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

2つあったはずが1つ。
両方参考にしてた3つ。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 5 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: IDP
ソースコードID: R6 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

左は右の逆かい?

判定順序: 7 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 福島 泰子
ソースコードID: R1 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☒ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

Download 5 分 1 降された場合。

判定順序: 8 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 福島 泰子
ソースコードID: K2 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

利用の頻度が高ければ (c) だが、

使う側で修正が効くのではないが。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 9 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 福島 義典
ソースコードID: R3 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

名前が変った部品に集約して(b)

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

役割の違いも考慮
途中は集約すべき

判定順序: 10 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 福島 義典
ソースコードID: R4 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

役割の量を考えて集約するより別個に登録したほうが良さそう

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

共通化のメリットはない
拡張しやすい

判定順序: 11 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 篠島 泰希
ソースコードID: R5 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

分けたほうが却って使いにくいと感じた。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

or and 以外にもたくさんある(b)。

判定順序: 12 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 篠島 泰希
ソースコードID: R6 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

名前を付与する内容も少し変更しているため集約は難しいと考えた。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 1 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 吉田 敦
ソースコードID: R1 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

・2008年版の最新版から (T3-1)
新
・中身は実質的に同じ。
・バージョンの違いをどう扱うか?

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

同E.
バージョンの前提により異なる。

判定順序: 2 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 吉田 敦
ソースコードID: R2 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☒ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

~~同E.~~
~~・同E.と同様に、(a)と(b)の差分情報も同時に登録されるものとする。~~
・また、(a)と(b)の差分情報も同時に登録されるものとする。
・バージョンの違いをどう扱うか?
・バージョンの違いをどう扱うか? (パフォーマンスと高効率性の観点から)

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

同E.

判定順序: 3 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 吉田 孝
ソースコードID: P3 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

集合的では便利にCCでも
(折返しにCCでも)

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 4 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 吉田 孝
ソースコードID: P4 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

・ 独立した構文要素
・ 差分を見ることが理解や再利用に有効。
・ 共通の親クラスでは、2重Xリットロケション。
・ このクラスで見れば、変数の仕様や名前がわかる。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 5 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 吉田 弘
ソースコードID: R5 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

and/or の差は、一方か両方ともが簡単に
導出可能。

2つある場合、どうしたいの?

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 6 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 吉田 弘
ソースコードID: R6 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

左の新しいバージョンで、右の古いバージョン

バージョン間の整合性を考える必要があるため

データベース内の

データ

最新版のみ対応

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。